

# 学林舎情報

NO. 166

共創ネットワーク

●発行日：2016年5月21日（土）

〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘3-19-3 TEL 06-4962-5876 FAX 06-4962-5877 e-mail info@gakurin.co.jp

発行:教材出版 学林舎



## 学習教育の行き先 アクティブ・ラーニングの展望

「アクティブ・ラーニング」は、漢字で「能動的学習」と書きます。従来のような、一方的に伝達される知識を聴くという受動的な「学び方」ではなく、能動的・主体的な態度で学習する「学び方」です。

2015年8月26日付の、文部科学省「教育課程企画特別部会 論点整理」は、次期の指導要領改訂の方向性について述べたものです。ここでは、次期改訂の視点は、子どもたちが「何を知っているか」ではなく、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」であり、学びに向かう力や人間性などを、いかに総合的に育てていくかが大切だということが述べられました。その上で、そのための学びにおける、「アクティブ・ラーニング」の重要性が示されています。

また、2016年3月31日に公表された、文部科学省「高大接続システム改革会議 最終報告」においても、「十分な知識・技能」「それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力」「これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つは、「学力の3要素」と定義づけられています。先行きの不透明な現代社会で、さまざまな人と関わり合いながら、主体性を持って人生を切り拓いていく力として、この「学力の3要素」は、特に重視すべきものであるという見解が示され、こういった力を育む、抜本的な教育改革を推し進める上で欠かせないのが「アクティブ・ラーニング」の視点だということが述べられました。

この「教育課程企画特別部会 論点整理」「高大接

続システム改革会議 最終報告」に共通するのは、「知識・技能」を活用できる「思考力・判断力・表現力」と、「主体性」を持って他者と「協働」して学ぶ姿勢を育むことを重視している点です。これらは、先行きの不透明な時代を生きる現代人に欠かすことのできない力であるとして、今後のすべての教育で重視されることとなります。「アクティブ・ラーニング」は、こういった「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を身につけることのできる、優れた「学び方」なのです。

この流れの中で、入試の改革も始まっています。

大学入試は、2021年度入試から大きく変わります。大学入試センター試験が廃止され、「高等学校基礎学力テスト(仮称)」「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」と、大学個別の入学者選抜が実施されることになる予定です。この「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」は、大学入学希望者が共通で受検するテストで、「学力の3要素」のうち、「思考力・判断力・表現力」を中心に評価するものとなります。そして、大学個別の入学者選抜も、「主体性・協働性」をはじめとした「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するものへと変わることとなります。なお、「高等学校基礎学力テスト(仮称)」は、生徒の基礎学力の習得と学習意欲の喚起を目的として実施されるテストです。2019年度から実施されますが、2022年度までは「試行実施期」と位置づけられ、大学の入学者選抜には利用しないことになっています。(2023年以降に利用されるかどうかは、現時点では決まっていません。)

大学入試を含めた、抜本的な教育改革が始まろうとしています。時代の変化とともに、知識・技能を受動的に習得する力から、答えが1つに定まらない問題に解を見だし、新たな価値を創造していける力や、主体性を持って人生を切り拓いていける力が、求められるようになったのです。こうした力を総合的に育てるには、学びの質や深まりが重要であり、「アクティブ・ラーニング」の視点からの教育は、重要性を増すばかりです。

(文 / 学林舎編集部)

## 教育現場の行き先 高大接続がもたらすもの

グローバル化や少子化が進む現代の日本では、子どもたちはこれまでと違う新たな多様性を持ち、主体的に生きていく力を身につけることが必要だと考えられています。文部科学省は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つを「学力の3要素」と位置づけ、これが今の子どもたちに必要な能力であるとしています。小学校・中学校では「学力の3要素」を学ばせる取り組みが進み、2012年のPISA(生徒の学習到達度調査)では、日本の子どもたちが国際的にも高い水準を示したことから、この取り組みは一定の成果が出ているといえます。

しかし、その後に続く、高等学校教育と大学教育、この2つを結ぶ大学入学者選抜を見てみると、「学力の3要素」が、評価や選抜に生かされているとは言い難い状況にあります。現在の大学入学者選抜は、知識の暗記や反復といったパターン学習ができているか、もしくはその反対に自己表現ができれば、知識などはあまり問わないとするといった極端な状況が見受けられ、「学力の3要素」が選抜に生かされていないという指摘があります。中学生の約99%が高等学校へ進学し、高等学校は大学入学者選抜を見すえた指導を行うことが多い現状があることから、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の3つが一体化して、「学力の3要素」を評価するしくみに改革していく必要があると考えられています。この改革を高大接続システム改革といいます。

どのようにすれば「学力の3要素」を正確に評価できるかについては何年も議論されてきましたが、2016年3月に文部科学省高大接続システム改革会議プロジェクトチームより最終報告が出されました。この報告より、大まかな内容をまとめます。

### □高等学校教育改革

次期の学習指導要領の改訂では、子どもたちに必要な資質や能力が何かを考え、現在の教科や科目の見直し(公民科で社会参画をはぐくむ「公共」を必修とし

て新設するなど)を行ったり、教員の指導力向上と合わせて子どもを多面的に評価することを推進したりといった改革が予定されています。また、「高等学校基礎学力テスト(仮称)」を導入し、「学力の3要素」をうまく評価する方法が考えられています。しかし、具体的な内容については、現在も中央教育審議会でも継続して審議中です。

### □大学教育改革

各大学は、それぞれが次のような3つのポリシーを定め、公表することになります。

- ①カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)  
教育内容とその成果の評価を明確にする。
- ②ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)  
どのような能力を身につけたら卒業・学位授与となるのかを明確にする。
- ③アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)  
①と②の方針の上で、「学力の3要素」を大学入学者選抜でどのように評価するかを明確にする。

この3つを公表することにより、大学がどのような人を育てようとしているのかがわかり、子どもたちが自分の生き方に合った大学を選ぶことができると考えられています。

### □大学入学者選抜改革

各大学は、アドミッション・ポリシーに基づいてどのような方法で入学者受け入れを行うかを決定し公表します。これに合わせて、各大学の個別選抜も改革を進めることとなっています。その一方で、共通の「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」が実施される予定です。これは、「思考力・判断力・表現力」を中心に子どもたちを公平に評価するもので、教科や科目の知識の暗記などではなく、大学教育を受けるのに必要な知識と理解をもった上でさまざまな問題を自ら見つけて考え、解決していく判断力を重視するものになる予定

です。具体的には、条件を与えた文章記述問題や、正解数を明示しない複数記号選択問題などが考えられています。

これら一連の高大接続システム改革は、高等学校教育改革については「高等学校基礎学力テスト（仮称）」を2023年度からの完全実施（2019年度より仮実施）予定、大学教育改革については2017年度より可能な限り早くポリシーの公表や実施をすること、大学入学者選抜改革については2020年度より仮実施を行った上で、平成2024年からは新学習指導要領に対応した完全実施が予定されています。

（文 / 学林舎編集部）

## 学習教育の行き先 スーパーサイエンスハイスクール (SSH)がもたらすもの

文部科学省は、先進的な科学技術や理科・数学教育を実施する高等学校や中高一貫教育校を、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）として指定し、各学校での取り組みを支援しています。

スーパーサイエンスハイスクールの指定校は、指定を希望し、文部科学省に申請した上で、審査に通った高等学校等に限られます。

### <目的>

国際的に活躍できる科学技術系の人材育成、および理科・数学系の教育に重点をおいた研究開発。

### <スーパーサイエンスハイスクール指定校での取り組み>

指定を受けた学校では、科学技術や理科・数学に重点をおいた学習指導要領によらない独自のカリキュラムの開発、創造性・独立性を高める指導方法や教材等の開発、大学や研究機関との共同研究、地域の特色を生かした課題研究など、様々な取り組みを行います。スーパーサイエンスハイスクールの指定期間は5年で、各指定校は、その活動について、年度ごとに研究開発報告書を作成し、文部科学省に提出しています。また、全国の指定校の代表生徒が集まり、日頃の研究活動の成果を発表するスーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会も実施されています。

### <スーパーサイエンスハイスクール指定校の卒業生の進路について>

2007年度～2011年度に行われた調査によると、スーパーサイエンスハイスクール指定校の理系学部への進学率は、すべての高等学校の平均進学率に比べて高く、男子は全国平均の約2倍、女子は全国平均の約3倍になっています。このことから、スーパーサイエンスハイスクール指定校が、理系学部にも数多くの人材を送り出していることがわかります。

しかし、調査期間中の理系学部への平均進学率は、経年で低下する傾向が見られます。この原因としては、スーパーサイエンスハイスクール指定校の拡大に伴い、進学のみではなく、多様な教育内容をもつ職業学科を含む指定校が増加したことが考えられます。

また、通算指定年数の長い指定校は、指定年数の短い指定校に比べて、国公立大学の理系学部への進学率が高い傾向にあることが確認されました。このことから、スーパーサイエンスハイスクールでの取り組みを長年続ける学校がよい成果を出しており、これらの学校の取り組みが、今後の科学技術系の人材育成のためのカリキュラムを確立する上で、資産になると考えられます。

指定校の地理的要因と進学率との関係についての調査からは、同一都道府県内に研究人材育成大学が少ない地域や地方都市にある指定校において、同一都道府県内の国公立大学の理系学部への進学率が高い傾向にあることがわかりました。大学との共同開発等の連携は、スーパーサイエンスハイスクールの中心的活動の1つで、指定獲得の要件の1つとなりますが、この結果は、地域における高等学校と大学との連携が強いことを示しているとも考えられます。

### <まとめ>

四年制大学への進学率の増加は、科学技術系の人材育成の成果の指標の1つですが、科学技術系の人材育成の出発点に過ぎません。スーパーサイエンスハイスクール指定校の卒業生が、大学、大学院に進学した後、どのような職業に就き、どのような成果をあげているかなど、今後の動向が注目されています。

（文 / 学林舎編集部）

# 求められるAll English教材

## <All English教材が必要な理由>

ここ数年、英語学習を取り囲む環境は大きく変化をしています。高校、中学校での英語授業においては、すべて英語でおこなうことが一般化しつつあります。学習指導に関しても、従来のように日本語に訳すのではなく、英語は英語で考え、読解、記述することを推進しています。

そういった中、All Englishの学習教材が求められています。ただ、日本の一般的な中学生、高校生の英語レベルを考えるとアメリカの中学生、高校生が使っている教科書や副教材は難しいといえます。そのため、学林舎ではアメリカの幼稚園、小学校で使われているAll Englishの学習教材を提案致します。英語力の向上はもちろんのことリメディアル学習としての効果も期待できます。

## All English Text

Evan-Moor. SKILL SHARPENERS

●サイズ：各 275×215mm ●ページ数：各 144ページ

●価格：各 1,795円 + 税(1,938円)

\* 解答は巻末に付属しています。

### Reading



- 型番:8978 Reading Gr.PreK - 英語導入レベル
- 型番:8979 Reading Gr.K - 英語導入レベル
- 型番:8980 Reading Gr.1 - 英検5～4級レベル
- 型番:8981 Reading Gr.2 - 英検4～3級レベル

### □Gr.PreK～K

アルファベット(A～Z)を5つの視点で学習します。PreKは全21ユニット、Kは全26ユニットで構成されています。1ユニット5ページで構成されています。

色鉛筆などで色を塗る箇所が随所にありますので、色鉛筆をご用意ください。

### □Gr.1～6

12～14のStoryを読みながら、Storyに関して3～6つの視点で問題が構成されたものを学習します。学年が上がっていくことによって、Reading、Writingの量が増えていきます。

- 型番:8982 Reading Gr.3 - 英検3～準2級レベル
- 型番:8983 Reading Gr.4 - 英検準2級～2級レベル
- 型番:8984 Reading Gr.5 - 英検準2級～1級レベル
- 型番:8985 Reading Gr.6 - 英検準2級～1級レベル

### □Gr.PreK～K

Physical Science、Life Science、Earth Scienceの3つの分野で学習できるように構成されています。

色鉛筆などで色を塗る箇所が随所にありますので、色鉛筆をご用意ください。

### □Gr.1～6

Physical Science、Life Science、Earth Scienceを中心にEnvironment、Ecology、Engineeringなどの分野を学習できます。分野ごとにScienceに関する用語、文章などを読解し、文章を書く(表現)練習ができます

- 型番:8986 Science Gr.PreK - 英語導入レベル
- 型番:8987 Science Gr.K - 英語導入レベル
- 型番:8988 Science Gr.1 - 英検5～4級レベル
- 型番:8989 Science Gr.2 - 英検4～3級レベル

### Science



- 型番:8990 Science Gr.3 - 英検3～準2級レベル
- 型番:8991 Science Gr.4 - 英検準2級～2級レベル
- 型番:8992 Science Gr.5 - 英検準2級～1級レベル
- 型番:8993 Science Gr.6 - 英検準2級～1級レベル

## Math



型番:9014	Math	Gr.PreK	- 英語導入レベル
型番:9015	Math	Gr.K	- 英語導入レベル
型番:9016	Math	Gr.1	- 英検5~4級レベル
型番:9017	Math	Gr.2	- 英検4~3級レベル
型番:9018	Math	Gr.3	- 英検3~準2級レベル
型番:9019	Math	Gr.4	- 英検準2級~2級レベル
型番:9020	Math	Gr.5	- 英検準2級~1級レベル
型番:9021	Math	Gr.6	- 英検準2級~1級レベル

## □Gr.PreK

・counting ・recognizing numbers ・patterning ・identifying geometric shapes ・comparing sizes ・recognizing most and least ・trace and write numbers ・cut and paste ・dot-to-dot ・count how many ・color the shapes ・circle the ones that are the same ・match  
\* 色鉛筆などで色を塗る箇所が随所にありますので、色鉛筆をご用意ください。

## □Gr.K

・read numbers to 20 ・write numbers to 10 ・count objects ・add and subtract numbers to 10 ・add and subtract doubles to 20 ・sizes and numbers ・identify and continue patterns ・give the value of a set of pennies ・recognize pennies, nickels, dimes, and quarters ・solve simple word problems ・identify basic shapes  
\* 色鉛筆などで色を塗る箇所が随所にありますので、色鉛筆をご用意ください。

## □Gr.1

・read numbers to 100 ・solve simple word problems ・write numbers to 100 ・identify basic shapes ・addition and subtraction facts to 18 ・tell time to the hour and half-hour ・identify fractions- $1/2$ ,  $1/3$ ,  $1/4$  ・read graphs ・identify and continue patterns ・count pennies, nickels, dimes, and quarters ・measure to the nearest inch ・two-digit addition and subtraction without regrouping

## □Gr.2

・read, write, and compare numbers to 1,000 ・addition and subtraction facts to 18 ・two-digit addition and subtraction with and without regrouping ・three-digit addition and subtraction without regrouping ・multiplication facts to 25 ・identify and continue patterns ・value of pennies, nickels, dimes, quarters, dollar bills ・solve word problems ・tell time to the hour and half-hour ・identify fractions- $1/2$ ,  $1/3$ ,  $1/4$ ,  $3/4$ ,  $2/3$ ,  $1/6$ ,  $1/8$  ・read and create graphs ・measure to the nearest half inch ・geometry-basic shapes, symmetry, perimeter

## □Gr.3

・read, write, and compare numbers to 10,000 ・addition and subtraction facts to 18 ・two-and three-digit addition and subtraction with and without regrouping ・multiplication and division facts to 81 ・multiply a two-and three-digit number by a one-digit number with and without regrouping ・division with and without remainders ・value of pennies, nickels, dimes, quarters, dollar bills ・solve word problems ・tell time to the minute ・identify fractions- $1/2$ ,  $1/3$ ,  $1/4$ ,  $3/4$ ,  $2/3$ ,  $1/6$ ,  $1/8$  ・read and create graphs ・measure to the nearest half inch ・geometry-basic shapes, symmetry, perimeter

## □Gr.4

・computation using addition, subtraction, multiplication, and division ・decimals ・fractions ・rounded numbers & estimation ・place value ・factors, multiples, prime numbers ・area and perimeter ・symmetry ・graphing, grids, charts, and tables ・money & time ・linear measurement, weight and temperature ・time ・logic puzzles

## □Gr.5

・division with remainders ・solving multiple-step word problems ・multiplying decimals and fractions ・identifying factors ・prime and composite numbers ・calculating perimeter and area ・interpreting graphs ・solving logic puzzles ・identifying probabilities ・range, mean, median, and mode ・measuring angles ・calculating equivalent fractions, decimals, and percents

## □Gr.6

・computing with multidigit whole numbers-all operations ・solving two-step equations ・multiplying and dividing decimals to the thousandths ・calculating the circumference of a circle ・calculating elapsed time ・constructing and interpreting graphs ・calculating with fractions ・calculating prime factorization ・greatest common factor and least common multiple ・converting customary measure to metric measure ・calculating area and perimeter ・plotting ordered pairs on a coordinate graph

# クロスロード Crossroad

第57回 文／吉田 良治

## 人生を豊かにしていくために

昨年から日本のスポーツ界ではよくない出来事が続いています。2020年東京五輪・パラリンピックに向けて日本のスポーツ界で今求められるものは、まさにスポーツマンシップの正しい理解と実践にあるといえます。

スポーツ界のみならず企業の不祥事、特に大手企業の名前を使って、さまざまな偽装行為で消費者を欺く事件が絶えません。スポーツの世界に見られる不祥事も、社会でおこっていることを映し出しています。社会においてスポーツマンシップに当たるシチズンシップもまた同様に重要になります。コンプライアンス（法令厳守）という言葉も、日本では一般的に浸透している中、最も法律を尊重し活動すべき機関が法律違反をすることは、スポーツ界の不祥事と同様社会全体に悪影響をもたらします。

スポーツマンシップの大前提はROOTSにあります。Rは競技のルール（Rule）を守ること、社会においては法律を守ること（コンプライアンスの徹底）を意味します。Oは審判（Official）の判定に従うことを意味し、社会では警察ということになります。もう少し狭い範囲になると、例えば会社の先輩や上司、家庭では親、学校では教師にあたります。もう一つのOは対戦相手（Opponent）を尊重することで、社会では例えば取引先、家庭や学校ではご近所の地域社会を意味します。Tは仲間（Team）を大切にすること意味し、会社では全ての職場の仲間たち、家庭では家族、そして学校では全校生徒や教職員を意味します。そして最後のSは自分自身（Self）を尊重することです。これらROOTSに敬意を払うことがスポーツマンシップの意味で、その実践をすることがスポーツマンの務めとなります。勝つか負けるかといった結果は、自分の力だけでは何ともなりません。スポーツマンシップをもとに取り組むかどうかは、自分自身で決め行うことができます。社会におけるシチズンシップもまた同様に、そこで営まれる行為に対する結果（企業の業績など）は、

自分自身の力だけではどうにもならないことも多々あります。しかし、シチズンシップをもとに正しい行いをすることは、全ての人に求められ、それを実践することができます。アスリートが正しくスポーツマンシップを理解し、それを実践することは、そっくりそのまま社会生活に生かすだけで、立派な社会人としてのシチズンシップを社会に示す、模範となる生き方ができるのです。

5年前の東日本大震災の復興もまだまだ道半ばの今、今年4月には熊本で大きな震災が起これ、甚大な被害が出ています。被災地を支援するためのボランティア活動などの社会貢献は、社会におけるシチズンシップを発揮する上で、もっとも意味ある活動となります。今月15日の朝日新聞朝刊でスポーツ界の熊本震災支援の特集記事が掲載され、そこで少し私のコメントを取り上げていただきました。

・5月15日の朝日新聞朝刊

<http://www.asahi.com/articles/ASJ5D4CQWJ5DUTQP015.html>

紙面の関係で詳しい事例を紹介できませんでしたが、アメリカでは毎年のように巨大竜巻やハリケーンにより、家を失う人や亡くなる人が多数おられます。突然やってくる自然災害以外でも、アメリカの日常の社会生活で起こる問題、例えば貧困と教育格差の拡大といった社会問題も深刻です。日頃から見過ごしがちな社会の問題に向き合い、自ら行動を起していくことは、シチズンシップを発揮する絶好の機会です。2005年ハリケーン・カトリーナでアメリカ南部は甚大な被害を受けました。その時全米から約1,000名の大学アスリートたちが立ち上がり、約20件の家を建てて被災地に送りました。また、大きな災害が起こったときだけでなく、日頃から文武両道を実践し、年間数百から千時間ものボランティア活動をし、地域社会を豊かにしようとする学生アスリートが数多くいます。日頃からシチズンシップを発揮する機会を見つけ、自ら行動していくことが、豊かな社会生活を実現するために必要な教養を養う近道となります。（つづく）

### 吉田良治さんプロフィール

1962年生まれ。1998年にワシントン大学へアメリカンフットボールコーチ留学。2000年リーグ制覇、2001年ローズボウルに出場し、ローズボウル制覇に貢献。国家レベルのリーダーシップ教育に貢献した、ランブライト元ワシントン大学ヘッドコーチよりリーダーシップ教育を学ぶ。

全米の大学で人格形成プログラム普及に貢献した、ライス元ジョージア工科大学体育局長よりライフスキル教育を学ぶ。

吉田良治さんBlog  
<http://ameblo.jp/outside-the-box/>